

第 61 回 東葛しぜん観察会

初夏の里やま 自然ウォッチング 草深から結縁寺

坂巻 真有美（白井市）

日時：2010 年 6 月 6 日（日）9 時 30 分～14 時 天気：晴

参加者：子ども 3 名、大人 37 名、指導員 19 名

担当指導員：渋谷孝子、新堀昌邦、坂巻真有美

初夏のさわやかな季節の中、『にほんの里山百選』に選ばれた印西市結縁寺の観察会を開催しました。千葉ニュータウンに隣接するこの場所は、駅から歩いても 20 分ほどの場所にあり、「首都圏近郊に残る谷津田」として里山百選に選ばれました。この日は、千葉ニュータウン中央駅より路線バスで集合した参加者が、4 班に別れて「草深の森(そうふけのもり)」の散策からスタート。この草深の森は、ニュータウン計画により造成される前のこの地域の姿を垣間見ることの出来る場所です。今は NPO 法人により市民が親しめる森として管理され、3 つのゾーンよりなる森には貴重な種類の植物も沢山あります…が、本日のテーマは「里山」と「谷津田」ということで、あまり細かい観察にこだわらず、初夏のこの風景を楽しんでいただくことを主な目的としました。北総台地には細かく入り組んだ谷津田が沢山ありますが、今回は標高 20～30m の台地から標高 5m の結縁寺(地名=けつえんじ)におりていくというコースで企画してみました。

フィトンチットを浴び、心地よい木洩れ日の草深の森をあとに、北総台地の上から長い坂をおりてくると、やがて道路下のコンクリートの壁につきあたります。しかしそこを曲がると急に風景は一転して、その先には結縁寺(地名)の谷津田風景が奥深くまで広がります。参加者はそのすばらしさにしばし見とれ、景色を堪能していました。深い緑の森、風にそよぐ稲穂、トンボや蝶が飛び、カエルの鳴き声に青い空。この日はまるで里山のセットを見るようにサシバも現れました。田んぼを中心とした人々の営みである「里山」。田・畑・森・林・原・ため池・寺・神社、この結縁寺(地名)にはそのすべてが揃っています。また、終点の結縁寺(寺名=けちえんじ)は奈良時代、行基というお坊さんが川をさかのぼり、その一番奥に行き着きそこへこの寺を作ったと伝えられています。最後に、この里山は 1000 年の時を経てなおここに存在するのだということを参加者と楽しく想像しながら観察会を終りました。

さわやかとはいえ初夏の暑さの中
参加者のアンケートの中からは

- ①コースの長さがちょうどよかった
- ②暑くもなく寒くもなくよかった
- ③とてもよいところだ

などの意見をいただきました。



谷津田や里山のお話し